



神を仰ぎ、人に仕う

Chapel News

2013年9~10月 No.9



「もう一つの現実」



「自分の人生を背負って生きるのは辛いですね」と言った患者さんがいる。多発性脳腫瘍のため繰り返し襲ってくる病気のために常に死と向き合ってきた。すでに三回の頭蓋骨を開いての手術で人生に疲れていた。「人生を背負う」という言葉には、彼女を襲う人生の重圧が現われていた。

彼女の人生にもバラ色の時があった。中学・高等学校時代の楽しい思い出が一杯あり、未来が輝いていた。スポーツが好きで朝から晩まで、汗を流し、大声を張り上げ、友人と笑いあったという。人生を振り返ると、悲しいことだけではなく、楽しいことでもない。楽しいことも、苦しいことも現実である。人生には二つの現実が混ざりあっている。

聖書には、思いもかけず苦しみや悲しみを負わされた病人、障がい者、物乞いが出てくる。特にイエスキリストに出会った人々は、肉体的病気、経済的貧困、精神的苦痛、社会的差別に痛め付けられていた。イエスキリストは私達に第三の現実を示そうとしたことを聖書は告げている。

私達には、辛い現実だけに心が捕われやすいし、楽しい現実は忘れやすい。そして、人生にはどんな意味があるのかと疑問に思う。第三の現実、肉眼では気付かない。しかし、人々の心に働きかけ、自己中心な罫目(罪)から解放させ、未来に向かって夢をもつ人に生まれ変えさせる神の国の現実。この現実こそ永遠に繋がる世界だ。

神の国の現実はどこにあるのか。「時は満ち、神の国は近くなった」(マルコによる福音書 1章 15節)とある。すでに私達のところに「神の国」は来ている。「悩むものよ、われに來よと、恵みの主は、招き給う。重荷負いて、あえぐ友よ、主の御元に來たり憩え。」(讚美歌 242番)。チャペルの時が「神との出会いの場、人生再出発の場」となる。

(こども心理学科長・人間福祉学研究科長 窪寺 俊之)

2013年度

「あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。」

(マタイによる福音書 5章 14、16節)

聖学院教会祈禱会

■毎週木曜日 18時30分~19時30分、緑聖ホールC室にて行っております。どなたでも自由に参加ください。

- ・9月26日(木) ネヘミヤ記第1章 東野尚志牧師 —キャンパス祈禱会
- ・10月3日(木) ネヘミヤ記第2章 柳田洋夫チャプレン

創立記念音楽会について

創立記念音楽会が下記のとおり開催されます。出席希望の学生は、チケット(1人2枚まで)を9月30日(月)までにキリスト教センター(チャペル棟1階)でお受け取りください。

日時: 10月5日(土)18時00分開演(17時30開場) チャペル
演奏者: ウィーン三重奏団 TRIO WIEN

全学礼拝期間について

2013年度の全学礼拝は、下記日程で行っています。毎週火曜日から金曜日、10時20分から10時50分です。どなたでも自由に参加ください。

秋学期/2013年9月24日(火)~2013年1月17日(金)

主の祈り

天にましますわれらの父よ
 ねがわくはみ名をあがめさせたまえ
 み国をきたらせたまえ
 みこころの天になるごとく
 地にもなさせたまえ
 我らの日用の糧を今日も与えたまえ
 我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく
 我らの罪をもゆるしたまえ
 我らをこころみにあわせず いだ 悪より救い出したまえ
 国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり



アーメン

9月24日(火)

奨励者 村松 晋
(日本文化学科教授)

司会者 菊地 順

奏楽者 ングワー 路津子

◆ ◆ ◆

前 奏

讃美歌 354 番 1、2 節

聖 書 ルカによる福音書
10 章 30~37 節(新約 P.126~127)

祈 禱

奨 励 『『頑張る』ことを問いなおす』

祈 禱

讃美歌 354 番 3、4 節

主の祈り

後 奏

9月25日(水)

奨励者 山田 麻有美
(こども心理学科教授)

司会者 佐野 正子

奏楽者 浦沢 如希

◆ ◆ ◆

前 奏

讃美歌 369 番 1、2 節

聖 書 コリントの信徒への手紙一
16 章 13 節(新約 P.323~324)

祈 禱

奨 励 『目を覚ましていなさい』

祈 禱

讃美歌 369 番 3、4 節

主の祈り

後 奏

10月1日(火)

奨励者 藤掛 明
(こども心理学科准教授)

司会者 菊地 順

奏楽者 ナイティンゲール 亜衣

◆ ◆ ◆

前 奏

讃美歌 66 番 1、2 節

聖 書 詩編
119 編 105 節(旧約 P.964)

祈 禱

奨 励 『道の光』

祈 禱

讃美歌 66 番 3、4 節

主の祈り

後 奏

10月2日(水)

奨励者 土方 透
(政治経済学科教授)

司会者 佐野 正子

奏楽者 ングワー 路津子

◆ ◆ ◆

前 奏

讃美歌 332 番 1、2 節

聖 書 詩編 116 編 1~19 節(旧約 P.956~957)
ヨハネの手紙一 3 章 16 節(新約 P.444)

祈 禱

奨 励 『だから、わたしたちも兄弟の
ために命を捨てるべきです。』

祈 禱

讃美歌 332 番 3 節

主の祈り

後 奏

9月26日(木)

奨励者 田村 綾子
(人間福祉学科准教授)

司会者 左近 豊

讃美リード 佐野 正子

奏楽者 ナイティンゲール 亜衣

◆ ◆ ◆

前 奏

讃美歌 御手の中で

聖 書 コリントの信徒への手紙一
9 章 24~27 節(新約 P.311)

祈 禱

奨 励 『何を目標して走るのか』

祈 禱

讃美歌 御手の中で

主の祈り

後 奏

9月27日(金)

奨励者 国府田 秀行
(ラーニングセンター事務課長代行)

司会者 柳田 洋夫

奏楽者 今村 優子

◆ ◆ ◆

前 奏

讃美歌 312 番 1、2 節

聖 書 コリントの信徒への手紙一
9 章 19~23 節(新約 P.311)

祈 禱

奨 励 『自由と奴隷』

祈 禱

讃美歌 312 番 3 節

主の祈り

後 奏

10月3日(木)

奨励者 原 一子
(こども心理学科教授)

司会者 左近 豊

奏楽者 大井 恵子

◆ ◆ ◆

前 奏

讃美歌 365 番 1、2 節

聖 書 エフェソの信徒への手紙
5 章 1 節(新約 P.357)

祈 禱

奨 励 『創造的模倣—キリストに倣う』

祈 禱

讃美歌 365 番 3 節

主の祈り

後 奏

10月4日(金)

奨励者 鹿瀬 颯枝
(欧米文化学科教授)

司会者 柳田 洋夫

奏楽者 今村 優子

◆ ◆ ◆

前 奏

讃美歌 461 番 1、2 節

聖 書 マタイによる福音書
6 章 34 節(新約 P.11)

祈 禱

奨 励 『生きねば』

祈 禱

讃美歌 461 番 3、4 節

主の祈り

後 奏